

磐田市地域公共交通計画 概要版

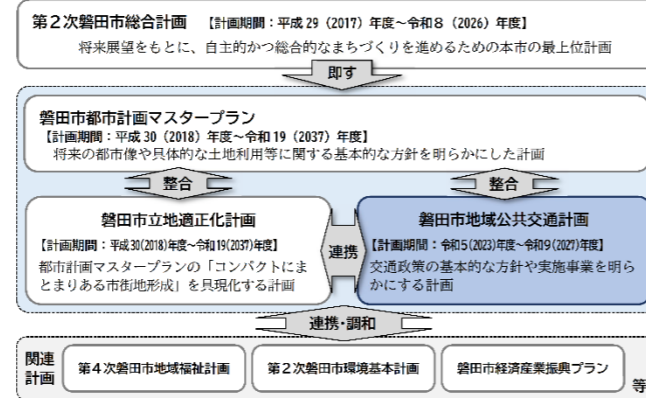
1 計画の趣旨・位置づけ

(1) 計画策定の趣旨

市民の移動手段を維持・確保し、公共交通を持続可能なものとしていくため、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」第5条の規定に基づく「磐田市地域公共交通計画」を策定するものです。

(2) 計画の位置づけ

「本市の交通政策の基本計画」として位置づけ、「第2次磐田市総合計画」に即し、「磐田市都市計画マスタープラン」などの関連計画と整合や調和を保ち、「磐田市立地適正化計画」と連携を図ります。



(3) 計画の対象区域

磐田市全域

(4) 計画の期間

令和5（2023）年度から令和9（2027）年度の5年間

2 公共交通の課題

本市の公共交通を将来につなげ、持続可能なものとするため、現況調査及びニーズ調査の結果から、本市の地域公共交通の課題を以下のように整理しました。

課題1	<p>◆拠点間ネットワークを担う公共交通の維持等が必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR駅周辺と旧来からの地域住民の生活を支えてきた地域を結ぶ公共交通の維持・充実が求められています。 ・JR駅周辺と新たな都市施設や交通結節点を結ぶ公共交通網の見直しが求められています。
課題2	<p>◆各拠点と地域を結ぶ地域交通の維持等が必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や交通弱者の移動手段を確保するデマンド型乗合タクシーの維持と利便性向上が求められています。 ・細分化する移動ニーズや増加する公費負担への対応として、ボランティア運送などの新たな移動手段への支援が求められています。
課題3	<p>◆公共交通の利便性向上と利用促進等が必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通結節機能の充実、インフラの改善、パーク（サイクル）アンドライドの整備など、公共交通の利用環境の向上やわかりやすい情報提供により、利用促進に向けた利便性の向上が求められています。 ・持続可能な公共交通の維持に向け、AIや自動運転技術の活用、Ma a S等の新モビリティサービスの導入などの調査・研究が求められています。

3 基本的な方針と目標

(1) 基本的な方針

暮らしの安心と人が集まる磐田市の未来を創る公共交通

市内各地の拠点を結ぶバス路線を維持するとともに、各拠点とその地域を結ぶ地域交通を維持・充実します。また、公共交通の利用環境の向上と利用促進に取り組むことにより、市民の生活交通や来訪者の交通利便の確保を図り、将来につなげる持続可能な磐田市の公共交通を創出します。

(2) 目標

目標1	<p>都市間や拠点間を結ぶ公共交通の確保・維持</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR東海道本線や天竜浜名湖線により本市と近隣市を結ぶ広域の移動手段を確保・維持します。 ・路線バスにより中心都市拠点や都市拠点と地域拠点や集落拠点を結ぶ移動手段を確保・維持します。 ・拠点と新たな都市施設等を結ぶ移動手段を検討します。
-----	---

目標2	<p>拠点とその周辺地域を結ぶ地域交通の確保・維持</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デマンド型乗合タクシーにより拠点とその地域を結ぶ地域内の移動手段を確保・維持します。 ・ボランティア運送などの新たな移動手段を支援します。 ・地域の輸送資源（スクールバス、施設送迎車両、企業バス等）活用の調査・研究を進めます。
-----	---

目標3	<p>公共交通の利便性向上と利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バス路線やデマンド型乗合タクシーの運行内容の見直しにより利便性の向上を図ります。 ・バス停等の環境整備により公共交通の利用環境の向上を図ります。 ・公共交通に関する情報発信や各種利用者への助成等により利用促進を図ります。 ・AIや自動運転技術の活用、Ma a S等の新モビリティサービスの調査・研究を進めます。
-----	---

(3) 基本理念と役割

市民、市民活動団体、事業者、市その他の関係者が連携・協働して、本計画を推進するため、基本理念と役割を下記のとおり整理します。

【基本理念】

- 1 公共交通は市民生活の基盤であり、地域の発展に欠くことのできないものであることを認識する。
- 2 少子高齢化の進展、人口減少その他の社会情勢の変化に対応しつつ、公共交通の維持・利便性の向上を図る。
- 3 環境への負荷低減を図りつつ、交通施策を推進する。
- 4 徒歩、自転車、タクシー、バス、鉄道その他の交通手段の特性に応じて役割を分担し効率的な連携により交通施策を推進する。

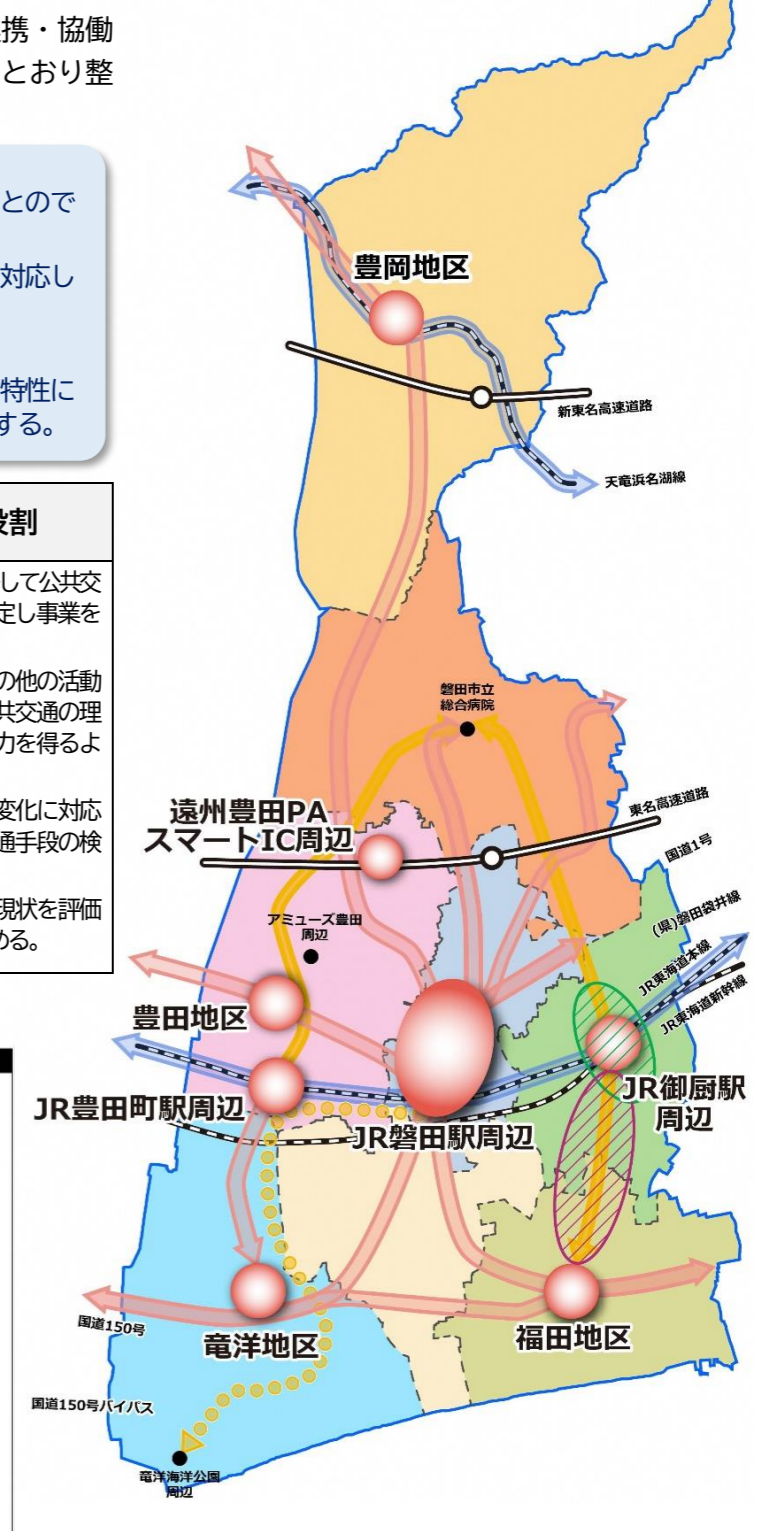
市民・市民活動団体の役割	事業者の役割	市の役割
<ol style="list-style-type: none"> 1 公共交通の積極的な利用に努める。 2 地域の公共交通の利用促進や新たな交通手段の検討に努める。 3 沿線企業、商店、病院等とのパートナーシップを図る。 4 公共交通の現状把握や理解に努める。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 公共交通の維持・利便性の向上に努める。 2 市や国・県が実施する交通施策の協力を努める。 3 公共交通のクリーンエネルギー化に努める。 4 公共交通の現状や情報の周知に努める。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 国・県と連携して公共交通施策を策定し事業を実施する。 2 情報提供その他の活動を通じて公共交通の理解を深め協力を得よう努める。 3 社会情勢の変化に対応し新たな交通手段の検討に努める。 4 公共交通の現状を評価し改善に努める。

(4) 磐田市が目指す将来の公共交通体系

本市が目指す将来の公共交通体系のイメージを右図のとおり示します。



■本市が目指す将来の公共交通体系のイメージ



4 目標を達成するために行う事業及び実施主体

(1)【目標1 都市間や拠点間を結ぶ公共交通の確保・維持】に関する事業

①鉄道運行の維持・支援 〈継続事業〉

市内外への通勤通学等に必要な移動手段を確保するため、本市と近隣市を結ぶJR東海道本線や天竜浜名湖線の運行を維持・支援します。

②バス路線の維持・支援 〈継続事業〉

市内の通勤通学等に必要な移動手段を確保するため、磐田駅周辺等と市内各地域を結ぶバス路線の運行を維持・支援します。

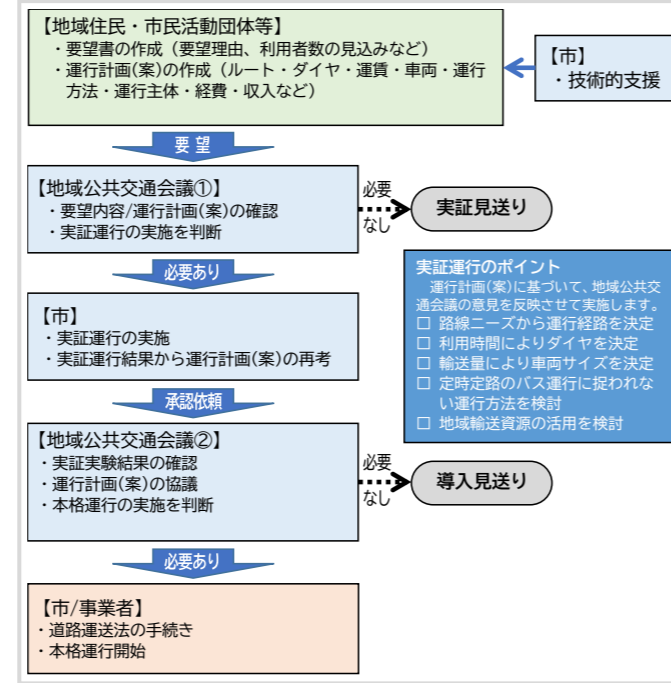
③バス路線退出の代替交通検討 〈継続事業〉

市民の生活に必要な移動手段を維持するため、バス路線の退出の申出があった際は、地域特性や利用状況等に応じて代替交通手段を検討します。

④新規路線の検討 〈新規事業〉

新たな移動手段を確保するため、本計画に位置付ける検討路線は、地域特性や利用見込等に応じて新規路線を検討します。

【参考】新規路線検討フロー



(2)【目標2 拠点とその周辺地域を結ぶ地域交通の確保・維持】に関する事業

①デマンド型乗合タクシーの維持 〈継続事業（一部新規事業）〉

高齢者等の日常生活の移動手段を確保するため、自宅と地域内の施設等を結ぶデマンド型乗合タクシーの運行を維持します。

②ボランティア運送の支援 〈新規事業〉

路線バスやデマンド型乗合タクシーでは対応しきれない地域の移動ニーズに対応するため、地域住民を主体とした新たな移動手段を支援します。

③地域輸送資源の活用調査 〈新規事業〉

本市の公共交通を持続可能なものにするため、地域の輸送資源を調査し、活用の可能性と活用方法の研究を進めます。

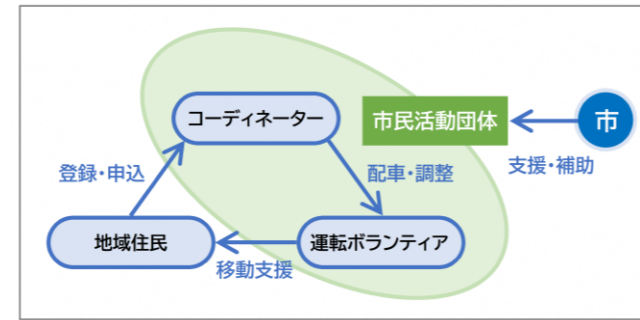


スクールバス (学府バス)



施設送迎バス (しおさい竜洋)

【参考】ボランティア運送のイメージ



(3)【目標3 公共交通の利便性向上と利用促進】に関する事業

①運行内容の見直し 〈継続事業（一部新規事業）〉

公共交通の利便性の向上を図るため、バス路線やデマンド型乗合タクシーの運行内容の見直しを検討します。

②バス停等の環境整備 〈継続事業（一部新規事業）〉

公共交通の利用促進を図るため、バス待ちや乗り換え環境を改善するバス停等の整備を進めます。



バス停の屋根設置、サイクルアンドライドの実施例 (遠鉄バス・掛塚バス停)



ロケーションシステムの設置例 (遠鉄バス・加茂刈川バス停)

③利用方法等の情報発信 〈継続事業（一部新規事業）〉

公共交通に関する理解を深めるため、ルート、ダイヤ、利用方法の情報発信と各種イベントの開催等の取り組みを進めます。

④運賃の割引等 〈継続事業〉

公共交通が必要な運転免許証返納者等の日常生活の安心と負担軽減を図るため、高齢者や障がい者等の運賃を補助します。

⑤先端技術の活用 〈継続事業（一部新規事業）〉

本市の公共交通を持続可能なものにするため、企業と連携を図りながらAIや自動運転技術の調査・研究を進めます。



低速自動運転車両の実証実験車両 (御厨駅北側地区)

【参考】タクシー運賃割引

運転免許を返納された65歳以上の方は **タクシー運賃が1割引**

高齢者「運転免許証返納割引」実施

静岡県タクシー協会加盟社及び個人タクシー協会事業者では、タクシーが「地域の客種の重要な公共交通機関」の役割として、増加している高齢運転者による自動車事故の防止に向けて、「安全安心」への社会貢献に寄与するため運転免許証を自ら返納された65歳以上の方に「運転免許証返納割引」を致します。

割引適用の確認

タクシー利用時に公安委員会発行の「運転経歴証明書」をお見せ願います。

【参考】Ma a Sのサービスイメージ



資料：国土交通省 地域公共交通計画等の作成と運用の手引き【詳細編】(抜粋)

5 計画の達成状況と評価

(1)評価指標と数値目標の設定

本計画で定めた3つの目標の達成状況を評価するため、目標に対応した評価指標と数値目標を設定します。

(2)評価の方法

本計画の評価は、PDCAサイクルの考え方に基づき、モニタリングシートを用いて、磐田市地域公共交通会議にて実施します。



Plan:
磐田市地域公共交通計画を5年ごとに策定します。

Do:
計画期間を通じて目標達成に向けた事業を実施します。

Check:
磐田市地域公共交通会議において、事業実施状況と路線運行状況をモニタリングシートにより評価します。

Action:
評価結果に基づいて、実施事業の検討、路線運行内容の見直しを進めます。

「基本的な方針」暮らしの安心と人が集まる磐田市の未来を創る公共交通

目標	評価指標/数値目標
【目標1】 都市間や拠点間を結ぶ公共交通の確保・維持	【評価指標1-1】 バス路線の利用者数 バス路線の運行維持と改善により、利用者の増加を目指します。 現在値：R3(2021)年度 2,709人/日 目標値：R9(2027)年度 2,880人/日
	【評価指標1-2】 バス路線の収支率 利用促進や経費削減等により、収支率の改善を目指します。 現在値：R3(2021)年度 46.8% 目標値：R9(2027)年度 50.0%
【目標2】 拠点とその周辺地域を結ぶ地域交通の確保・維持	【評価指標2-1】 デマンド型乗合タクシーの利用者数 デマンド型乗合タクシーの運行維持と改善により、利用者数の増加を目指します。 現在値：R3(2021)年度 126人/日 目標値：R9(2027)年度 165人/日
	【評価指標2-2】 デマンド型乗合タクシーの収支率 乗合率の向上や運行内容の変更等により、収支率の改善を目指します。 現在値：R3(2021)年度 20.1% 目標値：R9(2027)年度 22.8%
【目標3】 公共交通の利便性向上と利用促進	【評価指標3】 市民の満足度 利便性向上や利用促進により、市民の公共交通に対する満足度を高めることを目指します。 現在値：R3(2021)年度 14.9% 目標値：R9(2027)年度 19.9%